



「都市のメガネ」を かけてみよう

田口 純子 助教

Assistant Prof. Taguchi Junko

都市のデザイン

2年前期/専門部門(地域計画科目群)

段階的に都市デザインに関わる

— 「都市のデザイン」では、どんなことを学びますか？

「都市のデザイン」は、都市計画や都市デザインの基礎について学ぶための講義です。1年生の「都市と人間」で問いを立て、2年生の「都市のデザイン」で基礎知識を学び、3年生の「都市の再生」で実践的な関与の方法を考えます。段階的に都市のデザインについて知り深めることで、**まちづくりに主体的に関わりたいと感じられるような講義・フィールドワークを目指しています。**

— 段階的な学びの、一部分なんですネ。

都市計画や都市デザインの基礎知識を、都市の構成要素や側面ごとに理解し、事例を通してそれらの有機的なつながりや全体像をつかむことを目的に、理論に国内外の事例を組み合わせ具体的に話しています。この講義のゴールは「都市のメガネを持つ」こと。緑地、防災、交通、住宅など、都市を構成する要素ごとの観点で異なる都市の見方を身につけ、世界中の都市デザイン事例を知ること、ものごとを分析して理解できるようになってほしいと考えています。**理解することで、自分の中**

Online Class in 2020

リアクション投稿でコミュニケーション

赴任初年度の遠隔講義だったので、学生とコミュニケーションを取ろうと考え、講義終了後に出席確認代わりに「リアクション投稿」を設けました。コメントを自由に寄せてもらい、次回の講義の冒頭で紹介するというものですが、学生から「自分のが読まれて嬉しい」「このコメント気になってた!」と好評の声が届き、私も嬉しかったです。

からまた「問い」が生まれれば、実際の都市やまちへの興味・関心にもつながると思います。

自分の考えを見つけるきっかけに

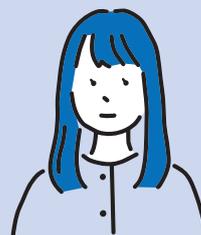
— この講義を進めるうえで、大切にしていることは？

常に「問い」を持つことを大切にしてもらいたいですね。問いが出てこないのは、「問いを持っていない」のではなく「問いを出せる環境にいない」からだと思っています。講義の中で、学生同士で盛り上がり意見をし合ったり、質問やコメントが自由に出ることで、楽しみながら問いを立てたり、さらに学びを深めたくなるきっかけを見つけてくれたりと、そんな場にしていきたいと思います。

— 学生にはどんなことを学んでほしいですか。

まずは自分ができることから行動し、他者をうまく巻き込みながらもものごとを動かしていくこと。これが社会に出る第一歩だと私は考えています。**自らの道を切り拓き、社会に出ていくことの意義**を、学生に伝えていきたいです。

学生の声



吉田 楓さん(2年生)

ジョルジュ・オスマンによるパリ改造の講義がとても印象に残っています。都市の歴史を遡り、計画の裏に隠された秘話を知り、都市計画を学ぶことへの意欲がさらに湧きました。田口先生は学生の意見に対して毎回丁寧なフィードバックをくださるので、遠隔でも先生との距離がとても近く感じました。